

キックバック目当ての要員削減

グループ会社 経費削減の半額が報奨金に



勤労千葉は6月8日、要員問題と夏期手当てに関してJR千葉鉄道サービス（CTS）と団体交渉を行いました。

幕張事業所は2年余で18人減

この間、CTS幕張事業所で退職者が続出し、多大な労働強化が生じています。特急車両のポリッシャー作業、217系快速車両の全般清掃など、本来やるべき清掃業務がまともにできない状況です。

会社側の回答では、14年1月の127人（管理者含む）が今年5月には109人。実に18人減です。6月の他事業所からの助勤は、延べ100人超です。会社は「応募も少なく、定着しない。組合の知恵を貸して欲しい」。

組合からは「努力の方向が違う。まともな生活できる賃金ではないことが根本原因」、幕張事業所の組合員は「女性の退職は、賃金だけでなくパワハラが原因だ」と追及しました。「経営陣の役員報酬カットや本社管理者を減らすなどの努

力はしているのか」と追及しました。

夜勤8人→5人の理由が明らかに

京葉事業所での夜勤者の削減（8人→5人）問題を追及する中でとんでもない事実が明らかになりました。

JR東日本は14年7月、グループ会社への委託費の削減を本社会議で決定。グループ会社を経費削減プランを提出させ、その案が採用されれば削減額の50%をグループ会社に報奨金としてバックしたのです。

100万円の経費削減計画が実施されれば、JR東日本は委託費を100万減らし、半分の50万円を一時金としてCTSに入れるということです。JR東日本は、「自分で自分の首を絞める」やり方をグループ会社に強制し、史上空前の黒字を積み上げているのです。

このためCTSは、京葉事業所の夜間業務を日常清掃から簡易清掃に切り替え、段階的に夜勤者を8人から5人に削減したのです。

あまりに理不尽な話

夜勤に従事していた労働者は収入が激減し、夜間の窓拭き作業が省略され、日勤者にも大変な労働強化になっています。これをCTSは目先の報奨金のためだけに強行したのです。あまりに不条理な話です。